

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 地域でくらす会	理事長	井上 徹	法人・ 事業所 の特徴	いくのさん家の基本理念「関係性こそ、その人らしさ どう生きたいか、に立ち返る ひとりの支援は、地域を変える」に沿って、住み慣れた自宅や地域での生活が安心して継続出来るよう、地域資源を活用したり、近所の方にも協力していただいたりして、一人ひとりの思いを大切にす支援をするよう心掛けている。
事業所名	小規模多機能型居宅 介護 いくのさん家	管理者	大坪 真美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	0人	2人	1人	1人	2人	3人	0人	11人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 「介護連絡表」の書式を、職員が目を通しサインをする欄を新たに設け、情報共有を確実にする。 地域かかわりシート配布時は、細かな説明をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報の共有という点では、書式を工夫するなどして取り組んでいるがまだまだ確実なものには至っていない。日々のミーティング等しっかりと行っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 取り組みが確認出来る様に、全体の職員数が分かるように明記された方がよい。 職員が達成したと感じられるように、目標をより具体的にした方がよい。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎月の会議で自己評価を振り返る時間を作り、取り組み状況を確認し職員間で共有していく。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 年度初めの運営推進会議で、事業所内を案内する機会を設ける。 玄関周辺や中庭に花を植えたり、建物周辺の整備を年間通して心掛ける(担当：環境整備係) 	<ul style="list-style-type: none"> 年度初めに委員の皆様には事業所を案内したが、その後は日頃の様子を知って頂く機会を設けていなかった。結果、しつらえや環境を評価するにも様子が分かりにくい事になっていた。 環境整備係をつくり、気分よく来所して頂けるよう出来ている。 	<ul style="list-style-type: none"> 玄関を開けた時に誰が訪ねて来られたか分かりますか？ 普段来ているから入りやすいと思っているが、地域の方が入りやすい環境となると分からない。 居心地の良い空間だと思っている。 	<ul style="list-style-type: none"> より多くの方々に周知して頂くために、広報誌を地域や公民館に配布する。 実際に関われる機会をつくらせて行く為に行事案内を行う。 委員の方々に現場の状況を把握してもらえるように案内する。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> 事業所の目印となる「いくのさん家」の看板を作る。 「かけこみ 110 番」ステッカーを貼り、入りやすい雰囲気を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所の入り口に目印となるよう看板を作成した。少しでも周知して頂き、足を運んで頂けるきっかけにしていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域と関わりを持とうとしているのは報告等で分かるが、実際に地域の方が事業所で過ごしている所は見たことがない。 地域の方がフラッと立ち寄れて帰れるような仕組みが作れたら本当にいいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> オレンジカフェ（認知症カフェ）に参加・参画し地域住民の方々への啓発、相談場所としてなれるよう取り組む。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> 地域の方にも参加を募り、AED 講習会を開催する。 地域の行事(一斉清掃や町内総会等)に参加し、情報収集する。 	<ul style="list-style-type: none"> 先生（運営推進会議委員）の協力でAED講習会を開催することに至り、地域の方にも参加して頂くことが出来た。 地域行事には積極的に参加して、交流を図ることが出来ている。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の方の地域までになると報告がない限りは分からない。 利用者の方以外にも関わっていく事を求められる事は大変だと思う。 地域での困り事を知っている人をどれだけ把握しているのかが大切だと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ご利用者毎の担当職員が中心となり、それぞれの地域行事に参加する。(公民館やご家族からの情報収集)

<p>E. 運営推進会議を活かした取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会やスキルアップのための勉強会等の情報を職員へ伝達し、興味がある職員は参加してもらう。 ・リスクマネジメント委員会を作り、事故防止・改善を図るしくみ作りに取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員を中心にリスクマネジメント委員会を作った。定期的を開催し事故防止のための情報交換や勉強会を開催している。今後も継続して取り組むことで、安全に過ごして頂く環境作りを図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の取り組みなどは、パワーポイントで分かりやすく説明されている。 ・地域と一緒に取り組む姿勢は感じる。対象がないとなかなか報告までは難しいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所評価の進捗状況を会議で報告する。 ・オレンジカフェ（認知症カフェ）に参加し取り組みを発表する。また地域の課題や困り事などあれば会議で検討していく。
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の防災計画を、運営推進会議で提示できるようにする。 ・防災訓練は地域の方にも案内する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練実施の案内を事前に地域の皆様に配布して、参加して頂く事が出来た。 ・初回の会議で防災計画を提示して報告させて頂いた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模多機能とグループホームがあり、地域の方々には心強いのではないかと思う。 ・会議の日に防災訓練を予定してもらえれば委員も参加しやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・あらゆる防災、災害訓練を計画し会議で報告する。（会議の日程に併せて計画するなどして訓練の様子を知って頂く。）

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 28 日 (18 : 30 ~20 : 30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 11 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	9 人	2 人	3 人	14 人

前回の改善計画
新規のご利用者の情報共有を職員間でより確実にするため、今までご利用者の担当を職員 1 名だったのを数名のチームに変更し、初期の関わりをチームで取り組むこととする。①介護連絡表 (基本情報) を担当チームで記入し他職員へ伝える。②新規ご利用者について、朝礼や夕礼時「介護連絡表」の項目に添ってサービスの形態や注意事項、本人や家族の思い等を話し合い、考え、理解していく作業を、利用開始前後より繰り返し行う。上記の方法で「かかわり始め」の段階で職員間の情報共有が今まで以上に出来るしくみを確立する。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"> ・ 3 グループのチーム分けを行い、今まで以上に情報共有の仕組みづくりを目指したが、動きとしては不十分であり定期的に集まって作業する事が出来なかった。チームとして具体的な目標が共有されていなかった。 ・ 介護連絡表 (基本情報) を作成し情報の共有に努めたが、有効に活用が出来ていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?		11 人	3 人		14 人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?		12 人	2 人		14 人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?		12 人	2 人		14 人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?		12 人	2 人		14 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用開始前は、しっかりと情報を確認し支援の方向性を共有出来ている。利用後間もない時は、ご本人の表情や言動に気を配り、他利用者との関わりがスムーズに行えるように努めている。 ・ 訪問時や送迎時に可能な限りご家族と話しをする機会を作り、自宅での様子や不安に感じていること等を会話の中から汲み取るようにしている。それを職員と共有し支援に生かしている。 ・ 職員間でチームを作る事で情報の共有に生かすことが出来ている。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報の共有に努めているが、検討していく部分においては不十分である。 ・ ご家族と会える機会が少なく、信頼関係を作っていく上で難しく感じている。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・ チームとしての動きを活発化させていきたい。月に 1 度はミーティングを行い、チームとしてまとめた事を伝達して全員が共有していく体制を作る。 ・ 介護連絡表 (基本情報) を適宜見直しする。(新しい情報や、日々の変化等) 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 28 日 (18 : 30 ~20 : 30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 11 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	2 人	12 人	人	14 人

前回の改善計画	
<ul style="list-style-type: none">・モニタリング様式を見直す。・初期支援の改善計画で挙げた“チーム”で、支援内容の見直し・更新を行う。担当職員が一人で進んでいた支援内容の把握をチームで取り組むことで、様々な意見を出して本人の「～したい」が明らかになる。・朝礼のリーダーは、担当ご利用者の長期目標や当面の目標を他職員へ伝えるようにする。これを継続することで担当ご利用者以外の方の目標を共有出来る。・日々の関わりの中で新たに知り得た事をしっかり記録しミーティングや職員間の会話の中で伝える努力をする。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
<ul style="list-style-type: none">・チームを作ったが、話し合う時間を作れず上手く機能していない。結果、まだまだ個別担当での動きになっており幅広い意見を引き出すに至っていない。・朝礼時、その時の申し送りで留まっていて目標の共有の時間になっていなかった。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		6 人	7 人	1 人	14 人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		7 人	7 人		14 人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		4 人	9 人	1 人	14 人
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		2 人	8 人	4 人	14 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・日々の何気ない会話の中で出てくるご本人のしたい事、興味のある事、望む暮らしを聞き逃さないように努めている。また、達成に向けてミーティングで話しをするようにしている。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・実践内容は記録や報告が出来ているが、その後の振り返りや次への対応までには至っていない。・ご利用者一人一人とゆっくり関わる時間を作りたいが、それぞれのご利用者に対して「～したい」支援をする時間の余裕がない。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	<ul style="list-style-type: none">・毎月チームで話し合う時間を作り、その内容を他の職員へ伝達する事で統一した関わりを目指す。(月に 1 回以上のチーム会議)・朝礼時に当日の課題 (目指すこと・すべきこと等)を確認して、職員間でその課題に取り組んでいく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 28 日 (18 : 30 ~20 : 30)

3. 日常生活の支援

メンバー 11人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	4人	9人	1人	14人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・「以前の暮らし方を10個以上把握」については、利用開始前の聞き取りで、「私の暮らしまとめシート」に沿って、本人の以前の暮らし方や暮らしの中でのこだわりを出来る限り詳しく記入し他職員へ情報共有する。 ・“気付きのセンス”は職員で違うため、日々の関わりや観察の中で普段と変わったことに気が付けば職員間で共有し記録に残すよう声を掛け合うようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・私の暮らしまとめシート（個別援助計画）の活用が出来ていない。 ・体調面や気持ちの変化で気付いたことがあれば、記録して職員間で情報の共有を図っている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		1人	10人	3人	14人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	1人	12人		1人	14人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		4人	10人		14人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?		12人	1人	1人	14人
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?		11人	2人	1人	14人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・日々の関わりの中で気付いたこと、訪問時や送迎時でご家族から得た情報は支援に活かせる様記録している。 ・毎日の体調はもちろんの事、現在の身体状況に応じた適切な支援が出来る様にミーティングで話をする事が出来ている。 ・ご本人の気持ちを傾聴し汲み取る様に努めている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・日々の暮らしの中で気付きがあっても支援に活かしきれていない。 ・ご本人の視点を理解し、今どういう支援が必要なのか職員間で曖昧な面がある。 ・「私の暮らしまとめシート」の活用が出来ていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティングで「私の暮らしまとめシート」を振り返り職員間で情報を共有する。共通の目標、視点を持つ事で支援に活かしていく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 28 日 (18 : 30 ~20 : 30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 11人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	11人	3人	14人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none">・初期の訪問や契約時に「私の暮らしまとめシート」を本人や家族と一緒に記入し、以前の暮らしを教えてもらう。初期の聞き取りで家族へ踏み込んだ事を聞くのは難しく家族と温度差がある場合もあるので、利用開始後に家族とのやりとりの中で関係を築いていながら作成していく。・本人を中心として、人間関係や地域資源を把握する為の「関係図」を作成する。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none">・「私の暮らしまとめシート」の活用が不十分である。本人様の以前の暮らしやこだわり、望む暮らしの把握に至っていない。・時間をかけながら「関係図」の作成は出来ている。新たな発見や関係性を知ることが出来た。地域や社会との繋がりにも活かす事が出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		6人	7人	1人	14人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		7人	6人	1人	14人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		4人	9人	1人	14人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		2人	5人	7人	14人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・今までの暮らしを壊さないように、地域との関係性を大切にしたい関わりを継続出来るように支援している。ご本人の役割をサポートしていく事で地域と途切れないようにしている。・関係図を作成する為に、ご本人やご家族からも情報収集することで、今まで知らなかった関係性を把握することが出来ている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・ご利用者全ての関係図の作成や、地域との関わり・資源の把握には至っていない。・生活の一部分しか把握出来ていない事が多く、関わっていない時間の過ごし方を分かっていない。目の前の支援で終わっている。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none">・「関係図」を作成するには、本人様以外にもご家族や地域の方から情報収集が不可欠である。一つでも多くの関係性を見出す為に、ご利用者の地域に向かうよう努める。・チームごとに対象者を決めて「関係図」を最大限掘り下げる。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 28 日 (18 : 30 ~20 : 30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 11人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	1人	11人	2人	14人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none">・本人から話が聞けない場合は「私の暮らしまとめシート」を活用したり、本人のしぐさや反応を見てニーズを汲み取る努力をする。・本人を中心とした「関係図」を活用して、見えそうな支援があれば支援につなげていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none">・「私の暮らしまとめシート」を十分に活用出来ていない。・「関係図」で把握した事を支援に活かす事が出来ている。(社会参加や関わり)

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		2人	9人	3人	14人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	3人	9人	1人	1人	14人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	1人	10人	2人	1人	14人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	1人	10人	2人	1人	14人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・ご本人の体調や急な予定変更にも、通い・訪問・宿泊のサービスを柔軟に対応出来ている。少しでも自宅で過ごす事が出来る様にご家族と相談して支援するように努めている。・自発的な発語がない方はご家族に様子を伺い、ご本人の表情や反応をしっかりと見て変化に気付くことが出来る様にしている。・公民館や近隣のお店と継続して関わる事が出来る様に支援している。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・全てのご利用者に対して地域資源が活用出来ておらず、また把握に至っていない。・地域との関わりがまだまだ不十分と感じる。・ご本人の些細な変化に対しての気づきが足りない。・柔軟な対応には心がけているが、時間に関して要望が重なってしまった場合などは事業所の都合になってしまう。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none">・地域資源の把握が不十分であり、支援に活かしていく事に至っていない。地域資源を把握していく為にも、事業所での活動に留まらず積極的に地域に出向く活動を取り入れていく。(公民館活動等)

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 28 日 (18 : 30 ~20 : 30)

6. 連携・協働

メンバー 11人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	12人	2人	14人

前回の改善計画	
・どんなイベントがいつあるのか知らないので、レクリエーション担当職員が公民館など地域に出向き月行事のチラシを頂き情報を得るようにする。事業所のイベントがあれば、公民館などに宣伝したりチラシを配り周知して頂く。 ・目印となる「看板」を作り、地域の方にわかりやすく訪れやすい工夫をする。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
・公民館行事など参加する機会は増えているが、地域でどのような行事が行われているか情報の不足がある。地域に出向く機会も限定されており、イベントの告知まで至っていない。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	1人	3人	2人	8人	14人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	2人		1人	11人	14人
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?		1人	5人	8人	14人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?			2人	12人	14人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・他のサービス機関との連携に関しては管理者や介護支援専門員が中心となり参加している。 ・公民館や町内の行事があれば参加して、地域の方との交流に努めている。 ・事業所で開催される季節の行事に、地域の方々が訪ねてくれる事が少しずつ増えてきている。 ・災害時や緊急時にもスムーズに対応出来るよう、周辺施設との関係作りに努めている。 ・年度内に「看板」の作成をする事が出来た。少しでも多くの方に周知して頂ければと思う。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・周囲に住宅が少なく、登録者以外の高齢者 (限られた方のみ) や子供が尋ねてくる機会がない。 ・地域行事の情報収集が不足している。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・顔の見える関係作りを目標にして定期的 (月に 1 回) に公民館を訪問し交流を深めていく。行事を企画した際は案内を配布し、地域行事の情報収集も行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 28 日 (18 : 30 ~20 : 30)

7. 運営

メンバー 11人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	1人	11人	2人	14人

前回の改善計画

- ・地域に必要とされる拠点であるために、まずは事業所の存在を知ってもらう。
→「連携・協働」の改善計画で挙げた、いくのさん家の「看板」を掲げる。
→「かけこみ110番」のステッカーを貼り、誰でも入りやすい環境を作る。
- ・地域の行事（一斉清掃・新年会等）に参加し、情報収集をする。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・「看板」を掲げるについては年度内に完成することが出来た。少しでも多くの方々に知って頂ければと思う。
- ・「かけこみ110番」のステッカーを掲示したが、誰でも入りやすい環境には至っていないので工夫が必要である。
- ・事業所近隣の行事には参加できており、今後も継続していきたい。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	1人	4人	5人	4人	14人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?		12人	2人		14人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		8人	5人	1人	14人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		1人	8人	5人	14人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・ご利用者、ご家族から意見や要望を受けた時は、ミーティングをして迅速な対応を心がけている。
- ・運営推進会議で地域の方々から意見を頂ける様に、事業所の様子等を詳しく説明している。
- ・地域行事には可能な限り参加して、地域の方々と交流するように努めている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・地域行事があれば参加し交流に努めているが、協働して何かに取り組むことまでには至っていない。
- ・職員間で問題点の共有が不十分であり、意見や提案があっても活かしきれていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・近隣の方が少なく立地的にも地域に対しての意識が少ない。小学校区の地域を意識して、積極的に交流を図っていく。
- ・職員同士が意見を出しやすい環境づくりはもちろんだが、ミーティングを活用してチームケアの充実を目指し、目標の共有を図っていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 28 日 (18 : 30 ~ 20 : 30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 11人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	4人	10人	人	14人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none">・様々な研修会やスキルアップのための勉強会など、職員へ伝達するようにしていく。・リスクマネジメントの研修会は、出席した事がない職員が参加する。・リスクマネジメント係（職員2名）を作り、危険箇所等の点検や業務の気付きがあれば改善を図るしくみ作りに取り組む。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none">・リスクマネジメント係を作り勉強会の開催に至った。リスクマネジメントに対する意識の差があるので、職員全員で問題を共有し事故防止をしていきたい。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	2人	7人	3人	3人	14人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		3人	3人	8人	14人
③	地域連絡会に参加していますか	1人		1人	12人	14人
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1人	10人	3人		14人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・リスクマネジメント委員会を作り、定期的に勉強会を開催し再発防止や予防に努めている。・毎月、事業所内で研修会を開催し質の向上を図っている。また、階層別（新人・中堅・管理者）の研修会を実施している。・外部研修後は、ミーティング時などで伝達講習をしている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・リスクマネジメントに対しての理解や意識が職員間で統一出来ていない。・予測に対する考えが不足している。・職場外の研修参加があまり出来ていない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none">・リスクマネジメントの意識を高めていく為に事例検討会や研修会の開催を目指す。・幅広く職場外の研修会に参加出来る様に計画していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 28 日 (18 : 30 ~ 20 : 30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 11人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	7人	6人	人	14人

前回の改善計画

- ・プライバシー保護の面について
→「トイレ使用中/空いています」の札を作り活用する。職員間で気になる声掛けがあった時など、その都度ミーティングや月1回の職場内会議で議題に挙げる。
- ・職場内の年間研修計画に、人権・プライバシー・成年後見制度等の内容を取り入れて開催する。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・プライバシー保護では、改善計画に挙げていたトイレの札を作り活用している。
- ・年間研修計画で上記の内容を取り入れて開催している。日々の声かけが適切かどうか振り返る機会が不十分である。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	9人	4人	1人		14人
②	虐待は行われていない	10人	4人			14人
③	プライバシーが守られている	2人	7人	5人		14人
④	必要な方に成年後見制度を活用している	7人	7人			14人
⑤	適正な個人情報の管理ができている	7人	7人			14人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・年間計画でも身体拘束、虐待防止の研修会を企画し実施している。日中は施錠をせず常に開放している。
- ・見守りをして行動を妨げないように努めている。
- ・必要な方は成年後見制度を活用している。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・他のご利用者にも聞こえてしまう声かけがあり、配慮が不足している。
- ・限られたスペースなのでプライバシーの確保が難しい面がある。
- ・適切な声掛けが出来ていない。(行動の抑制にも繋がってしまう)

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・朝礼を活用するなどして日々の声かけや関わり方を振り返る時間(話し合う時間)を作る。
- ・声かけによっては行動の抑制に繋がってしまうことを十分に理解していく。
- ・職員一人一人が「待つ」事を大切にして、本人様の行動を抑制しないように支援する。